



## 樋野芳雄教授

1950年（昭和25年）東京都生まれ

### 学歴

1968年3月 東京教育大学附属高等学校卒業  
1969年4月 一橋大学社会学部入学  
1973年3月 同上卒業  
4月 一橋大学大学院社会学研究科修士課程入学  
1975年3月 同上修了（社会学修士）  
1975年4月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程入学  
1979年3月 同上単位修得満期退学

### 職歴

1975年4月 武蔵野美術大学講師（非常勤、～1979年3月）  
1979年4月 愛知大学教養部講師  
1991年4月 愛知大学教養部助教授  
1998年4月 愛知大学国際コミュニケーション学部助教授（同学部発足に伴う移動）  
2003年4月 愛知大学国際コミュニケーション学部教授

### 所属学会

日本社会学会、経済理論学会、日本法社会学会、日本マス・コミュニケーション学会、  
日本国際政治学会、日本平和学会、日本有機農業学会、小農学会

## 主な教育研究業績

### <学術論文> (単著)

「有機農業・自然農法の展開と「農」をめぐる社会動向」『年報・中部の経済と社会 2018』57-68：2019年3月。

「自然エネルギー・水素エネルギーの利用をめぐる動向」『年報・中部の経済と社会 2015』53-62：2016年03月。

「グローバルな近代の中における明治期文明論」愛知大学研究助成共同研究成果報告書『グローバル化のもとでの国際理解—現代日本の課題』：1-19、2004年3月。

「人文主義平和論の支柱と構成 — エラスムスにおける和合の福音」『文明 21』第9号：25-38、2002年10月。

「政治シンボルとしての「国際貢献」」『愛知大学国際問題研究所紀要』第107号：25-59、1997年3月。

「〔資料〕リアリズムをどうとらえるか — リチャード・リトルへのインタビュー」『愛知大学国際問題研究所紀要』第98号：229-239、1993年2月。

「ケネス・N・ウォールツの現代国際政治認識 — 構造的リアリズムの展開」(2)『文学論叢』第92輯：1-35、1989年12月。

「ケネス・N・ウォールツの現代国際政治認識 — 構造的リアリズムの展開」(1)『文学論叢』第88輯：25-48、1988年6月。

「“Disposable Time” と < 個人の全面的かつ自由な発達 >」『一橋論叢』第81巻第2号：235-254、1979年2月。

「< 個人の自由な全面発達 > — 「物質的生産過程の精神的諸力能」の高次再獲得の側面について」『一橋研究』第40号：127-146、1978年9月。

「< 個人の全面発達 > の社会学への序論」(一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位修得論文)、1979年3月。

「タルコット・パーソンズにおける近代市民社会認識 — 批判的検討」(一橋大学大学院社会学研究科修士課程修士論文)、1975年3月。

### <その他> (単著)

「〈農〉と生物多様性をめぐる社会動向」愛知大学中部地方産業研究所第19回「地域・産業・大学」公開研究発表会、2020年02月。

「国際的関心を国際教養へつなぐ」『愛知大学国際コミュニケーション学部への誘い [2019年度] 改訂版』：39-40、2019年03月。

「国際教養学科、発進」『文明 21 ~特別記念号・愛知大学国際コミュニケーション学部 20年の軌跡』：58-60、2018年11月。

「有機農業の展開と社会構想」愛知大学中部地方産業研究所第16回「地域・産業・大学」公開研究発表会、2017年02月。

「香港の旅、雑記雑感」「別冊ひろば」(愛知大学教職員組合)第28号：1-4、2015年12月。

「自然エネルギーの安定的利用のための仕組みづくりに関する研究」愛知大学中部地方産業研究所第14回「地域・産業・大学」公開研究発表会、2015年02月。

「[1996年のトラウマ]を越えて—この四半世紀と愛知大学」『ひろば』(愛知大学教職員組合)101号：1-4、2014年10月。

「両輪の教養、知識の意義づけ」『別冊ひろば』(愛知大学教職員組合)第20号：6-8、2013年7月。

「グローバル化と向き合う」(講演)名古屋国際センター国際カレッジ2012年第3期、2012年2月16日。

「大学教育の職業的意義」『別冊ひろば』(愛知大学教職員組合)第11号、2010年12月。

「ドロッカーとドイツ・オーストリア」『LL ニュース』(愛知大学外国語研究室)：10-11、2010年10月15日。

「1年次演習科目におけるキャリア教育の試み」第46回大学教員セミナー事例発表(大学セミナーハウス)、2007年3月3日。

「本に親しみだしたころ」『韋編』(愛知大学図書館)No.29:5-6、2004年6月。

「トリード市訪問記③④」『東海日日新聞』1998年12月21日第3面、22日第3面。

「国際関係理解の基本を身に付け、知的生産の方法を学ぶ」『文明 21』創刊準備号：90-92、1998年1月。

「アメリカン・セミナー '94 印象記」『第3回アメリカンセミナーの印象から』『愛知大学アメリカンセミナー文集』(第2回、第3回)、1994年12月、1996年2月。

### <翻訳>

ヘドレイ・ブル「世界政治において秩序はいかにして維持されるか」『愛知大学国際問題研究所紀要』第91号：125-146、1990年6月。

- ヘドレイ・ブル「世界政治に秩序は存在するか」『(愛知大学) 一般教育論集』第3号：111-130、1990年。
- ヘドレイ・ブル「世界政治における秩序の概念」『文学論叢』第93輯：121-143 (同「解説」121-124)、1990年3月。
- ジック・ルービン (市川孝一・樋野芳雄訳) 『好きになること愛すること：社会心理学への招待』思索社、1981年7月。